

ナラティヴ・メディア研究会 第12回研究会

近世における轆轤首の表象

～ 怪談集・随筆・草双紙・医書から～

三浦 達尋

(情報科学研究科博士前期課程)

概要：化物の一種である轆轤首（ろくろくび。ろくろ首、飛頭蛮などとも表記する）は、元は漢籍等に登場する異民族の伝承であったが、近世期の日本においては様々なイメージでもって記述された。本発表では草双紙等からの図像だけではなく、当時の怪談集や随筆、医書等の記述も用いて、轆轤首について多様な語られ方がされていたことを示すつもりである。

2010年11月16日(火) 16:30～18:00

(終了時刻は変更の可能性があります)

東北大学文学部 3階 中会議室

どなたでも興味のある方の来聴を歓迎します(事前申し込み不要)

問い合わせ先:

情報科学研究科 森田直子 (morita@media.is.tohoku.ac.jp 電話 022-795-4788)

文学研究科 森本浩一 (xkc-m2rt@sal.tohoku.ac.jp 電話 022-795-5969)